

DIGNNER
ECHIZEN

Local Media Paper

Person to Person, Echizen Edition A Local Wonderful Life Guide Made by Digging.



Yuka Takayama

Why live Creatively in Echizen City? | INTERVIEW

DIGNNER ECHIZEN PAPERは、越前市で創造的な暮らしをしている人にフォーカスしたローカルメディアです。

Information : URL <https://dignner.site>DIGNNER
ECHIZEN

Local Media Paper

Person to Person, Echizen Edition A Local Wonderful Life Guide Made by Digging.



Toshitiro Yokota

Why live Creatively in Echizen City? | INTERVIEW

DIGNNER ECHIZEN PAPERは、越前市で創造的な暮らしをしている人にフォーカスしたローカルメディアです。

Information : URL <https://dignner.site>

高山祐香さん「ゲストハウス YAWN YAWN エー・エー・ン」
目指すのは「地元に戻りたいと思えるまち」。
ゲストハウスを通じて生まれる人のつながり

白壁の蔵が並ぶ「蔵の辻」や歴史ある神社仏閣、点在する町家。そんな風情が漂う武生のまちに、2024年9月、ゲストハウス「YAWN YAWN(ヨーンヨーン)」が誕生しました。オーナーの高山祐香さんは地元出身。大手ホテルで経験を積み、地元に戻ってきました。なぜ故郷でゲストハウスを始めたのか、その想いを伺いました。

Uターンしてゲストハウスを
開業したいと思ったきっかけは？

越前市で生まれ育ち、大学進学とともに東京へ。高校生の時は地元に残るイメージが全くなくて、外に出るものだと思ってたというか、もう帰ってこないくらいの気持ちでした。大学のゼミではまちづくりを学んでいたのですが、そこで、地元のシャッター商店街と東京の賑わう商店街の違いに衝撃を受けたんです。「こんな場所が地元にもあれば、もっと人が集まるのに」と考えるようになりました。いろんな人が行き来する流動的なところに惹かれて、自分も地元でそういう町があれば帰りたいなって思ってたんです。それを他力本願じゃなくて自分でやってみよう、そういう場所を作ってみようと思うようになったのが大学4年生の頃でした。そんな思いを形にするため、着目したのが、大学時代によく利用していたゲストハウス。まずは「旅行者の方と地元の人が交流するような場所にしたい」という思いがあって、そのときの自分の経験から、出てきたのがゲストハウスという選択肢でした。

星野リゾートで学んだことは？

ゲストハウス開業に向けて、まずは宿泊業の経験を積もうと選んだのが星野リゾートでした。20歳の記念に両親と軽井沢の星野リゾートに泊まり、その接客の素晴らしさに感銘を受けたんです。星野リゾートはマルチタスクでホテルの運営に関わるさまざまな経験が積めるのも魅力でした。オペレーションはもちろんお客様との距離感など、ここでの経験が今の接客スタイルの土台になっています。



ゲストハウス「YAWN YAWN」について教えてください。

2023年に福井へUターンし、物件探しを開始。条件に合う場所を見つけるのは簡単ではありませんでしたが、10年以上空き家だった店舗兼住宅を借りることができました。そして2024年9月、念願のゲストハウス「YAWN YAWN(ヨーンヨーン)」をオープン。名前の由来は英語の「YAWN」(あくび)で「日常からほんの一步離れて、ついあくびが出るほどリラックスできる宿」を目指しています。

これからどんなことをやってみたいですか？

地元に戻って改めて感じたのは、この地域には熱い思いを持った人がたくさんいるということ。以前は「早く県外に出たい」と思っていたのに、今ではこの土地の魅力を再発見する毎日です。このまま、自分が帰ってきたときの気持ちをお忘れなくしたい。今後もYAWN YAWNを拠点に、地域とつながるイベントやワークショップを通して人とのつながりを広げていきたいです。

guesthouse YAWN YAWN(ヨーンヨーン)

〒915-0076 福井県越前市国府1丁目1-5
ゲストハウス:IN15:00-21:00、OUT10:00
カフェ&バーOPEN:15:00-21:00(20:30 L.O)
CLOSE:火曜、不定休
ご予約はHPの問い合わせフォームまたは予約サイトより

